

**8** 長洲有明ライオンズクラブ親子ふれあい陶芸教室  
**2** 親子で楽しむ陶芸教室



笑顔で陶芸を楽しむ参加親子

長洲有明ライオンズクラブ（中村正一郎会長）は、町中央公民館で親子ふれあい陶芸教室を開催しました。

これは、夏休みを利用し、親子で土にふれ合いながら思い出を作ってもらいたいと始めた取り組みで、ことしで14回目の取り組みとなります。

この日は小代焼一先窯の山口智一さんを講師に招き、参加者25人の親子はそれぞれ思い思いの陶器を作りました。参加した子どもたちは「去年も参加してとても楽しかったので、ことしも参加しました。去年より上手にできたと思うので来年も参加したい」と笑顔を見せました。

**8** 有明ソーラーパワー 夏休み環境学習教室  
**6** 環境に優しいってなんだろう



元気にソーラーカーを走らせる参加者

「夏休み環境学習教室」（長洲町・㈱LIXIL主催）を有明ソーラーパワーで開催し、参加した約60人の子どもたちは、環境について学びながら、太陽光で走るソーラーカーや、LIXILで作っているタイルを用いて作るモザイクタイルアートの作成を行いました。

これは、㈱LIXIL有明ソーラーパワーに隣接する施設で環境学習を行うことで、子どもたちに環境について考えてもらおうと毎年行っているものです。

参加した子どもたちは「ソーラーカーが太陽の光だけで走ったのがすごかったです」と皆笑顔を見せました。

**7** 不二ライトメタル株式会社との立地協定締結  
**28** 医療分野で地方創生を



握手を交わす高口部長、中重社長、中逸町長（左から）

熊本県庁において、県商工観光労働部高口部長立会いのもと、不二ライトメタル株式会社の中重社長と中逸町長が開発設備増設に伴う協定書の調印式を行いました。

今回の開発設備増設は、医療用品に適したマグネシウム合金の開発と、加工技術の高度化を図るため、設備増設されるものです。

調印式で中逸町長は、「町の地域経済の発展及び雇用創出につながるもので、町の地方創生の大きな柱になるものと期待しています」とあいさつしました。

中重社長は、「地域社会の発展に貢献し、雇用機会の確保や従業員の生活向上に寄与していきます」と力強くあいさつを行いました。

**8** 長洲町商工会青年部が発電機を寄贈  
**10** 町で役立ててほしい



目録を手渡す中島部長（中央右）

長洲町商工会青年部（中島貴之部長）は、地域活動の一環として、町へ発電機を寄贈しました。

これは、長洲町商工会青年部の地域活動の一環として、イベント等のバザーの収益金の一部を発電機として寄贈されたものです。

中島青年部長は「町の災害時やイベント時に活用してもらうことで、町の発展に貢献できればと思います。また、商工会青年部も町のイベントなどを通して地域とのふれあいを続けていきたいです」と話しました。

**金** 熊本ものづくり塾 ヒノキの水槽寄贈  
魚すくいで最高のおもてなしを



水槽を寄贈した原嶋塾長

熊本ものづくり塾（原嶋友子塾長）から「県産材を活用したヒノキの金魚水槽」が寄贈されました。

この「県産材を活用したヒノキの金魚水槽」は、「海フェスタくまもと」にご出席された秋篠宮同妃両殿下がご休憩として長洲町にご来町されるのにあわせ、樹齢480年の県産材ヒノキで製作されたものです。

7月23日には、「ながす金魚」で秋篠宮同妃両殿下をおもてなし、この「ヒノキの金魚水槽」で秋篠宮同妃両殿下が金魚すくいを楽しまれました。

**7** 長洲祇園祭  
**25-26** 掛け声とともに長洲校区を巡る



「ぎょんさん」と威勢のいい声でみこしを担ぐ参加者

長洲祇園祭は7月25、26の両日、長洲校区で行われ、四王子神社を始点・終点に、神幸行列が、長洲校区16カ所のお旅所を練り歩きました。

今回の祇園祭は2日間を通して約200人以上が参加。にぎやかな太鼓の音とともに「ぎょんさん、ぎょんさん」の威勢のいい掛け声が聞こえてくると、その一行を一目見ようと沿道には多くの人が集まりにぎわいを見せました。

また、一行がお旅所に到着すると、地域の人たちは温かい拍手と声援で出迎え、無病息災を願ってみこしをくぐりました。

**金** 創作の金魚と鯉を寄贈  
魚と鯉のPRに役立ててほしい



創作した鯉を寄贈した北野孝子さん（左）

北野誠司さん、孝子さん夫婦（下東区）から、紙粘土と着物の生地で作られた「創作金魚と鯉」が寄贈されました。

制作した北野孝子さんは「せっかく金魚の町長洲町に住んでいるので、何か町をPRできるものを作りたいと思っていました。町のPRに役立ててくれればと思います」と笑顔を見せました。

現在、寄贈された創作金魚と鯉は、金魚の館に展示しています。ぜひご覧ください。

**7/18** 長洲海塾  
**-8/1** 子どもたちが長洲の海を学ぶ



海の生き物の標本を見ながら海について学びました

磯町区（木下信博区長）と町教育委員会主催の長洲海塾は、7月18日から8月1日の間に全5回、子どもたちの夏休みを利用して開催しました。

これは、広大な干潟を有する有明海で、さまざまな海の生き物などとふれあうことにより、海と親しみ自然と共生できる心と力を育むことを目的に行われているもので、ことし初の取り組みとなります。

木下区長は「海の事を勉強しながら、海で遊んだりして、有明海のことをもっと知って、海のことについてもっと好きになってほしいですね」と笑顔を見せました。

**下** 環境美化作業  
**本区** 祇園祭前に区を綺麗に



暑い中、清掃を行う区民の皆さん

下本区（湯村浩和区長）では7月19日、環境美化作業として海岸付近と国道501号線付近を中心に、草刈りやごみ拾いなどを行いました。

この日は、区民40人が参加。暑い夏の日差しの下、参加者の皆さんは手際よく作業を進め、約70袋分の草とごみを回収しました。

湯村区長は「暑い中お手伝いいただき本当にありがとうございます。皆さんの協力のおかげで、祇園祭の前にきれいに清掃ができました。参加していただいた区民の皆さんにはとても感謝しています」と話しました。

**大** 大明神夏祭  
**明神区** 夏の夕べに多くの人でにぎわう



ダンスの披露もあり、会場は盛り上がりました

大明神区（高野秀夫区長）では8月8日、区民同士の親睦を目的として、せいわの里で夏祭りを開催しました。

夏祭りは区内外から大勢の人が参加され、金魚すくいやすいかの早食い、盆踊り、各団体によるダンスの披露、最後には豪華景品が当たるお楽しみ抽選会などのさまざま催しがあり、会場は大いに盛り上がりました。

高野区長は「暑い中、区民の皆さんをはじめ、大勢の皆さんに協力していただき、素晴らしい夏祭りを開催することができました。とても感謝しています。また、今後もこのような活動を続けていきたいと思っております」と力を込めました。

**8** 肥後銀行長洲支店  
**20** ご金魚（近所）付き合いはじめました



支店内に癒しの空間を演出

8月20日より、「ながす金魚」が肥後銀行長洲支店内で癒しの空間を演出しています。

これは、伝統産業である「ながす金魚」を活用した個性と活力あるまちづくりと地域密着型金融機関を目指す同支店が積極的に地域住民とのふれあいを大切にするため、町と連携して行った新たな取り組みとなります。

同支店古川支店長は「この連携事業を通じて、地域住民へのおもてなしやふれあいを大切にしていきます！ご来店の際は、ながす金魚で癒しの空間をお楽しみいただけたらと思います」と話しました。

**松** ふれあい松原夏祭り  
**原区** 夏祭りは大盛り上がり



さまざまな催しに盛り上がりました

松原区（松浦秋則区長）では8月1日、介護予防拠点施設「ふれあい松原」にて夏祭りを開催しました。

この日は、中逸町長をはじめ、多くの招待客を迎え、イベントでは、ハンドベルとオカリナの演奏に始まり、金魚すくいやヨーヨー釣りのほか、バーベキューなどが行われました。

松浦区長は「場所が変わり、第1回目の夏祭りだったので、人が集まるか不安でしたが、たくさんの人に来ていただき、安心しました。また、中逸町長からは、『ふれあい松原を多くの区民に使ってほしい』という言葉をいただきました。皆様のご協力に感謝します」と笑顔を見せました。